

おすすめウォーキングルート入り

ええとこ発見図

岡山市岡輝中学校区
(清輝・岡南学区)



元気はつらつ長生き
岡輝21ロゴマーク



作成者一同の思い

「ええとこ発見図」とは、自分たちの住んでいる地域のええとこ(いいところ)を盛り込んだウォーキングマップです。地域を何度も歩き、話し合いを重ねる中で、普段見過ごしていた大切な地域資源を再確認しました。いろいろな人と知り合い、お互いを認め合うことで、地域に住む人の「ええとこ(いいところ)」も再発見しました。この「ええとこ発見図」が、健康づくりに活用され、地域への愛着や人と人との絆をますます深めるきっかけになることを願っています。

平成28年3月
健康市民おかやま21(第2次)

清輝ええとこ



A.花と緑の やすらぎコース

コースの特徴

石のオブジェから西川橋交番まで足を伸ばせば、往復約3kmの、木陰をゆっくりと歩けるコース。

みどころ

- ・水辺に四季折々の草花が咲き、目を楽しませてくれる。休憩所もあり、距離やペースが選びやすい。
- ・岡山市で一番早く咲くソメイヨシノと、一本遅咲きの大変きれいな八重桜がある。(ぜひ見つけてね!)
- ・地域のボランティアが川を清掃し、夏にはホテルの姿も見られ、心を和ませてくれる。



石のオブジェ



皇太子記念碑
今上天皇の御誕生を祝って建立された。

D.トレーニングコース

コースの特徴

二日市公園の内側で1周約900mの短距離のため、自分のペースにあわせて歩く距離を調整できるコース。

みどころ

- ・戦前の姿を残す八角園舎や岡山市立中央図書館がある。運動の後はゆっくりと読書を楽しめるほか、親子の散歩コースにもおすすめ。



八角園舎
明治41年に建てられた旭東幼稚園の旧校舎をこの地に復元したもので、平成19年に国の重要文化財として指定を受けた。

B.歴史探訪コース ※()は旧町名です

コースの特徴

歩道を通って安全に歩ける一周約4kmのコース。

みどころ

- ・油町、紺屋町、大工町など昔ながらの町名や万納屋橋など古い橋が残っており、歴史を語りながら、ゆったり歩ける。
- ・北風が多い岡上で、岡山城を火災から守るため、昔は城の南側に火を使う職業の人が多く居住していたことが、町名からもうかがえる。
- ・清輝橋交差点の季節の花々や、春の桜が、目を楽しませてくれる。

C.リバーサイドコース

コースの特徴

岡山市立中央図書館を起点に、岡山城・後楽園まで足を伸ばせば、往復約7kmのコース。
*交通量が多い所があるため、舟橋町からは河原に降りて歩かれることをお勧めします。

みどころ

- ・京橋は昭和50年代頃まで、昔の船着き場として賑わっていた。今は、日曜朝市が開かれている。
- ・四季を通して、旭川に訪れる野鳥が、心を和ませてくれる。

歩行姿勢のポイント



歩行時の理想的な
接地順序

一直線上を歩く
イメージで

- ★消費カロリーの計算式
→『歩行距離(km)×体重(kg)×1/2』
- ★歩数計がなくても安心!
→目安:1万歩=110分
- ★歩数の計算法→歩いた時間(分)×100=歩数

元気ハツラツ長生き岡輝21

岡南・清輝学区(連合町内会・民生委員児童委員協議会・愛育委員会・婦人会・栄養改善協議会)
岡南地区社会福祉協議会・清輝学区体育協会
岡南清輝おやこクラブ・ふれあい介護予防センター北事務所
北区中央地域包括支援センター・岡輝公民館
北区中央保健センター

岡山 岡南エネエニ

A. 清正公コース(せいしんしょうこうコース)

特徴： 神社や清正公祠堂をめぐり歴史探訪ができる約3kmのコース。
みどころ： 街中にある神社や清正公祠堂を巡ることができ。整備された公園も多く、手入れされた花々が四季を彩っている。十日市歩道橋もコースに含んでおり、歩道橋上から360度見渡せる景色は、いつぶう変わっていい面白い。



A-①

富田八幡宮(とみたはちまんぐう)
 1717(享保二)年、地名が富田村に改められ富田八幡宮と呼ばれるようになった。秋祭りは10月初めの土・日曜。夜は子どもたちだんじりを引き、相撲大会も開催される。境内には子どもの守護仏の菩薩像も鎮座されている。



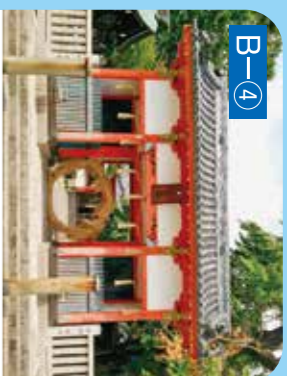
A-②

清正公祠堂(せいしんしょうこうどう)
 (せいしんしょうこうほくらどう)
 加藤清正が日蓮宗の大信者として鹿田庄の住民を集めて説法したと伝えられている。清正公祠堂は数多く存在するとされているが当地でもその遺徳を偲んで祭祀したと思われる。



B-⑤

管能寺(かんのうじ)
 宝塔題目釈迦多宝寺仏、四菩薩、不動、愛染、四天王をまつる。終戦後まで北区新道(清輝学区)にあった。岡山市が空襲を受けるとき山門だけを残して全焼。本尊は辛うじて戦災を免れた。昭和34年に現在の地へ山門は旧のものを移植、整備された。



B-④

春日神社(かすかじんじや)
 春日神社には神妃が住むという樹齢八百年の神木銀杏の大樹をはじめとした樹齢数百年の樹木のほか燈籠、手水鉢等数々の貴重なものが残っている。源平藤戸の合戦に関する社伝もあり、戦功を祈願し白羽の矢を射じたとあり、この社は「成願宮」と名付けられ、入学祈願など願い事に功ありと信仰されている。



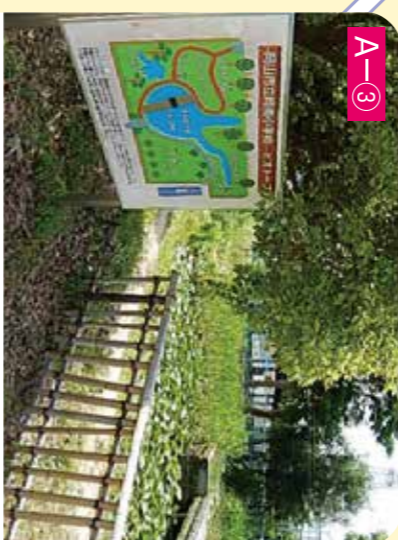
B-①

足の地蔵(あしのじぞう)
 足守の足の神様を分けていただき祀っているという説と、戦国時代に足を切り落とされた落ち武者を祀っているという説がある。現在は、わら草履が地蔵様にかげられ、足の神様として親しまれている。(せびみっけてね。)

狭い道！車を注意して歩こう！
 用水路に沿って歩こう！

歩道橋を降りて一本目を右に行く

用水路沿いを注意して歩こう



A-③

ピオトローフ
 ピオトローフとは、「多様な動植物が生息・育成する空間」という意味。平成16年1月に、岡南小学校に完成し、生息・育成する動植物の調査・観察等ができることともに、地域の方々の交流や憩いの場となっている。



B-③

天野八幡宮(あまのはちまんぐう)
 応神天皇、神功皇后などを祭神。大正10年、奥田にあった村社天野神社を合祀して現在の天野八幡宮になった。南鳥居には「南無妙法蓮華経」と刻まれているが、明治維新後、政府の命令によりこれを削り取ろうとしたが、石工が腰痛に襲われ中断したといいわれがあり、現在はそのままの状態が残されている。

B. 青江のうなぎコース(あおえのうなぎコース)

特徴： 足の地蔵や神社・寺をめぐり、うなぎのみどころに南北に伸びる約4kmのコース。
みどころ： かききれないほど、由緒ある神社や寺が多く点在する地域。ぜひ足を運んでほしい。春には旭西浄化センター周辺の桜並木が素晴らしい。



B-②

青江うなぎ(あおえうなぎ)
 かつて青江の名物にウナギがあった。青江の漁夫の漁業権のあった松ヶ鼻から米倉川にかけての干潟でウナギが取れた。大変おいしかったと聞く。藩政時代にはウナギの漁業権は青江を含めて3か所にしかなく、これらの地域の漁夫だけがウナギを捕ることができた。かつて青江にはウナギ問屋が何件もあり、大量のウナギがこの地に集められたことも由来のひとつだったろう。今は昔の話である。